

科目名	営農診断簿記	教員名	うえき かずみ 植木 和美	開講 コース	作物生産 花園芸	2年次	後期
<p>・目的と内容</p> <p>今日の農業経営者には、施肥、栽培、管理等技術的な知識だけでなく、一般の会社経営者と同等の経営管理能力が必要とされている。一年間の経営活動の成果を数値として捉え、経営の状況や推移を把握することによって、将来に向けての経営戦略を立てることが大切であり、そのためには複式簿記の習得が必須とされている。しかしながら、教育の場で習った簿記が必ずしも経営現場の簿記として活用されていないのが実状である。</p> <p>本科目では、現在農業者が使用している簿記ソフトや取引データを使って、複式簿記の仕組みと記帳の実際を学び、財務諸表や青色申告決算書の作成、作物別損益分析の手法など、実際の経営現場で利用できる簿記の習得を目的とする。</p>							
<p>・授業計画 [ 単位数：2単位、授業週数：15回 ]</p> <p>[ 後期 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1．複式農業簿記の基本と活用</li> <li>2．複式農業簿記の基本と活用</li> <li>3．パソコン簿記の設定と操作</li> <li>4．開始貸借対照表の作成</li> <li>5．クミカン取引</li> <li>6．現金・預金取引</li> <li>7．未収・未払金、仮受・仮払金の処理</li> <li>8．家計と家事関連費</li> <li>9．家計と家事関連費</li> <li>10．償却資産と減価償却費</li> <li>11．決算修正</li> <li>12．決算修正</li> <li>13．決算書の作成</li> <li>14．簿記の印刷・製本</li> <li>15．青色申告決算書の作成</li> </ol>							
<p>・講義の進め方</p> <p>農家が導入している簿記ソフトを使用する。簿記は、「習うより慣れる」と言われている。簿記の理論については重要なポイントにとどめ、実際に農業者が使用している各種取引データを使って、記帳演習を主体に進める。</p>							
<p>・試験と成績評価</p> <p>記帳演習の進捗、理解度出席率などを加味し、総合評価する。</p>							
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>簿記、税申告、各種データの集計分析、インターネットによる情報収集など、パソコンは今や農業経営にとって欠かせない機器となっている。平素よりパソコンに触れることに心がけてほしい。また、受講者のパソコン操作や簿記の習熟度については、個人差があると思われるが、お互いに教え合うことでレベルアップを図っていただきたい。</p>							
<p>・使用教材</p> <p>教科書：講義資料を配布する。 教材：パソコン室のパソコンを使用する。</p>							